

みずほCustomer Desk Report 2023/03/23号(As of 2023/03/22)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	132.57
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	132.40	1.0774	142.61	1.2224	0.6677
SYD-NY High	133.00	1.0912	143.58	1.2334	0.6759
SYD-NY Low	131.00	1.0759	142.32	1.2209	0.6662
NY 5:00 PM	131.50	1.0856	142.75	1.2269	0.6684
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,030.11	▲ 530.49	日本2年債	▲0.0600%	0.0200%
NASDAQ	11,669.96	▲ 190.15	日本10年債	0.3200%	0.0800%
S&P	3,936.97	▲ 65.90	米国2年債	3.9577%	▲0.2193%
日経平均	27,466.61	520.94	米国5年債	3.5312%	▲0.2160%
TOPIX	1,962.93	33.63	米国10年債	3.4491%	▲0.1575%
シカゴ日経先物	27,050.00	▲ 135.00	独10年債	2.3255%	0.0500%
ロンドンFT	7,566.84	30.62	英10年債	3.4470%	0.0860%
DAX	15,216.19	20.85	豪10年債	3.3320%	0.1210%
ハンセン指数	19,591.43	332.67	USDJPY 1M Vol	11.92%	▲0.97%
上海総合	3,265.75	10.10	USDJPY 3M Vol	12.74%	▲0.42%
NY金	1,949.60	8.50	USDJPY 6M Vol	11.77%	▲0.28%
WTI	70.90	1.23	USDJPY 1M 25RR	▲1.67%	Yen Call Over
CRB指数	258.65	0.97	EURJPY 3M Vol	12.68%	▲0.36%
ドルインデックス	102.35	▲ 0.91	EURJPY 6M Vol	11.91%	▲0.40%

東京	東京時間のドル円は132.40レベルでオープン。仲値にかけて日経平均株価の上下する動きに追随する形となり、一時132.78まで上昇するも、実需の売りなども入り132.30近辺まで下落。午後は、FOMCを控え様子見な展開となり132.30～50近辺で推移し、132.43レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、132.43レベルでオープン。FOMCを午後に控え、金利の上昇を背景に132.93まで上昇し、結局132.90レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2231レベルでオープン。英2月CPIが予想を上回り、明日のBOE金融政策決定会合での0.25%の利上げの蓋然性が高まったことで1.2295まで買われ、結局1.2270レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は132円台半ばでスタート。海外時間では英2月CPIが予想を大きく上回り、底堅く推移するポンド円の上昇に支えられてドル円も上昇し132.90レベルでNYオープン。オープン後は一時133円ちょうどまで上昇するも、その後市場は円買いに転じ132.45まで売り戻される。午後に発表された注目の米3月FOMCの結果は一部予想に反し25bpの利上げとなったが、その後行われたFRBパウエル議長の記者会見では、「利上げ休止検討した、利上げ支持に強いコンセンサス」「この2週間に銀行界で起きた事象は経済に影響も」とインフレ対策として利上げを考慮するも一連の金融不安の再燃を引き起こす可能性を危惧し次回から利上げ停止と金融規制が強化される見方が示され、ドル売りが加速し131.00まで急落。その後「想定より高い水準への利上げ必要なら、そうする」との発言が伝わるとドル円は131.68まで反発するも長く続かず、終盤にかけて再び反落し131.50レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。海外時間ではECBラガルド総裁が欧州のインフレを2%に引き下げるため次回の5月会合でも利上げを辞さない姿勢を示した事から市場はユーロ買いで反応し、ユーロドルは堅調に推移し1.0798レベルでNYオープン。午前中は米FOMC結果待ち姿勢から1.0790付近を挟んだ推移が続いたが、午後に入ると米FOMCの結果を受けてドル売りが強まりユーロドルは1.0912まで急伸したが、買い一巡後は1.0855まで売り戻された。その後は次第に小動きとなり1.0856レベルでクロス。

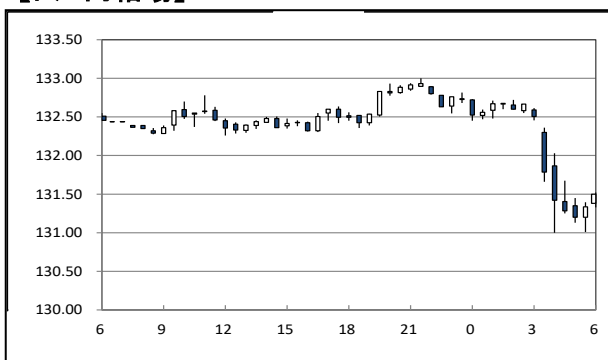
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月22日	16:00	英 CPI(前月比)	2月 1.1%/10.4%	0.6%/9.9%
	16:00	英 CPIコア(前年比)	2月 6.2%	5.7%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	3月 3.0%	-
3月23日	03:00	米 FOMC政策金利	22-Mar 5.0%	5.0%

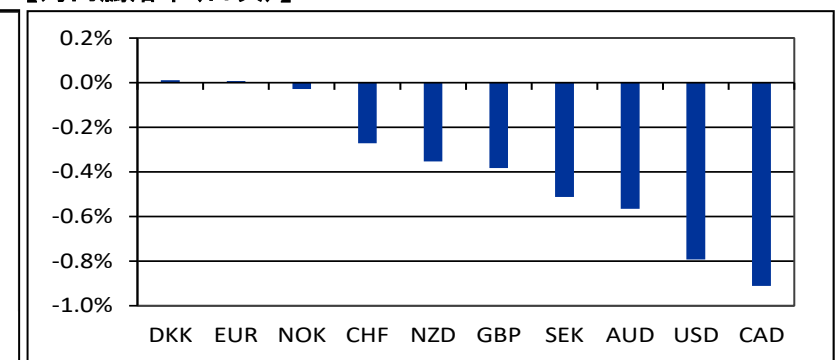
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月23日	21:30	米 新規失業保険申請件数	18-Mar 197k	192k
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	2月 0.10	0.23
	23:00	米 新築住宅販売件数	2月 650k	670k
3月24日	00:00	欧 消費者信頼感・速報	3月 -18.2	-19.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.00-132.50	1.0750-1.0950	140.50-143.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間、FOMCを控えて動きは限定的。LN時間もFOMC待ちながらも、英2月CPIが予想を大きく上回る結果となったことを受けて欧米金利が上昇する流れにクロス円が上昇。ドル円はクロス円の買いに133円手前まで上昇。注目のFOMCは市場予想通りの25BP利上げ、2023年末のドット(5.125%)に変更なし。ハト派利上げとの解釈にドル売り、株高の反応。ドル円は瞬時に132円割れ。更にその後、イエレン財務長官から「預金保険の適用範囲、大幅な拡大は検討せず」との発言が伝わると、銀行株主導で米株が大きく下落、ドル円は131円ちょうどまで下落幅を拡大させた。

本日のドル円相場は上値重い流れが継続すると予想。FEDはインフレ懸念は未だ残るものの、銀行システム不安を意識した対応をとった。イエレン財務長官の発言で一旦落ち着いた金融懸念にも警戒感が高まっている。市場は今回の利上げを最終局面と見込んでおり、完全に金融不安が払拭されるまではドル円の上値は重くなっていくのではないかと見られる。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・多川